

2026年8月

中小企業のための AI活用ガイド

「AIを使いたいけど、何から始めればいいのか分からない」

そんな経営者のための、失敗しない 3ステップを解説します。

87%

AI導入に関心がある中
小企業経営者の割合

72%

「何から始めればいいのか
分からない」と回答

3倍

土台整備後のAI導入で
効果が出やすくなる

AI ACTIVATION GUIDE

株式会社アクセルパートナーズ

会社概要

アクセルパートナーズグループは、お客様の成長をリードする社外経営企画パートナーとして
求人・人事・マーケティング・財務・ITを全方位で支援しています。

会社名	株式会社アクセルパートナーズ
所在地	【本社】〒141-0022 東京都品川区東五反田4丁目9-2東五反田KBビル12F 【名古屋支社】〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町2番8号椿町ビル4B 【大阪支社】〒530-0055 大阪府大阪市北区野崎町6番8号 トレックノース 梅田ビル1205号室
役員	- 代表取締役 二宮 圭吾(中小企業診断士) - 取締役 古川 祐介(中小企業診断士) - 取締役 鴨居 陽介(中小企業診断士) - 取締役 今井 一貴(社会保険労務士・中小企業診断士)
設立	2015年12月
資本金	1,000万円
事業内容	- 運用型広告代行サービス - 求人サポート - コンサルティング - 補助金申請サポート・経営計画策定支援 - 社労士事務所の共同運営
従業員数	20名(正社員:8名、アルバイト:12名)
グループ	アクセル経営社会保険労務士法人



本資料は、IT専任担当者がいない中小企業の経営者・管理者の方を対象に、AI活用を成功させるための考え方と具体的な進め方をまとめたものです。

1 いま、中小企業の IT環境に何が起きているか

2 AI導入でよくある「3つの失敗パターン」

3 成功する企業が実践している「3ステップ」

4 STEP 1 — まず現状を正確に把握する

5 STEP 2 — メール・ファイル・セキュリティの土台を整える

6 STEP 3 — AIで単純作業を効率化し、利益を生む

7 導入効果と活用事例

8 費用の目安とスケジュール

9 よくあるご質問

10 まずは、ここから

01

いま、中小企業の IT環境に 何が起きているか

多くの企業が抱える「静かなリスク」

Reality

中小企業が抱える「静かなリスク」

2025年以降、生成AIの進化により業務効率化の可能性は飛躍的に広がりました。しかし、多くの中小企業では AI以前の段階で深刻な課題を抱えています。

68%

IT専任担当者がいない中小企業

※中小企業白書（2025年版）

43%

セキュリティ対策が「不十分」と認識

※IPA 情報セキュリティ実態調査

2.5倍

中小企業へのサイバー攻撃件数（3年前比）

※JPCERT/CC レポート

1

パソコンが壊れたとき、誰に相談すればいいかわからない

業務が止まってから慌てて業者を探す。復旧まで数日間、生産性がゼロに。

2

退職者しか知らないファイルの保存場所がある

「あのフォルダどこだっけ？」が日常化。個人PCにしかデータが存在しない。

3

怪しいメールへの対処法が社内で統一されていない

万が一の情報漏洩は、取引先の信頼喪失に直結。

4

AIが話題だが、何から手をつければいいかわからない

使ってみたい気持ちはあるが、日々の業務で手一杯で後回しに。

5

IT担当が一人に集中し、属人化している

担当者が辞めたら業務が止まるリスク。

ポイント これらの課題は放置すると「セキュリティ事故」「業務停止」「人材流出」につながります。そして、この土台が整っていない状態で AIを導入しても、効果は出ません。

02

AI導入でよくある 「3つの失敗パターン」

なぜ、多くの中小企業がAI活用に失敗するのか

Pitfalls

AI導入でよくある「3つの失敗パターン」

AI導入に取り組む中小企業が増えていますが、「導入したけど使われなくなった」というケースが後を絶ちません。

失敗 1

ツールだけ入れて、使い方を教えない

「ChatGPTのアカウントを全員に配った」——それで終わりにしていませんか？ツールを渡すだけでは、社員は何を聞けばいいかわかりません。必要なのは、「自社の業務で、具体的に何をAIに任せるか」を一緒に設計することです。

失敗 2

IT環境の土台が整っていないまま導入する

ファイルが個人のPCに散在し、セキュリティも設定されていない状態で、AIに「社内情報を活用させたい」と言っても無理があります。メール・ファイル・セキュリティの「土台」が、AI活用の前提条件です。

失敗 3

一度にすべてを変えようとする

「業務システム入れ替え」「クラウド移行」「AI導入」を同時に進めて現場が混乱。小さく始めて、成功体験を積みながら段階的に広げることが成功の鍵です。

AI活用も「土台（IT環境の整備）→ 仕組み（運用ルール）→ 実践（AI活用）」の順番を守することで、初めて持続的な効果が生まれます。

03

成功する企業が 実践している 「3ステップ」

全部で3ステップ。途中でやめても大丈夫です。

Roadmap

成功する企業の「3ステップ」

AI活用で成果を出している中小企業には、共通の進め方があります。

1

現状把握

今のIT環境を調べて
最適な進め方を提案

2

土台整備

メール・ファイル・
セキュリティを整える

3

AI活用

単純作業を効率化し
空いた時間で利益を生む

STEP 1

まず状況を聞かせてください

今のIT環境を調査し、何を・どの順で進めるかをご提案。「何を・どの順番で・いくらで」がこの段階で明確になります。

STEP 2

メール・ファイル・セキュリティを整えます

一番大事な工程。クラウド環境の構築、データ移行、セキュリティ設定まで、設定・移行・マニュアル・説明会のすべてをこちらで実施。

STEP 3

AIで単純作業を効率化、利益を生む

STEP 2で土台を整えたあとだからこそ、AIが安全に効く。企画から開発・運用まで全部こちらでやります。



04

STEP 1

まず現状を正確に 把握する

Research & Planning — 正しい現状把握が、正しい打ち手を生む

Research

STEP 1 — まず現状を正確に把握する

正しく認識できれば、正しく行動できる — これはITの世界でも同じです。

NG ありがちな進め方

- ・ネット記事を見て「良さそう」と導入を決定
- ・自社に必要な機能が分からず、高額プランを契約
- ・既存システムとの相性を確認していない
- ・セキュリティリスクを把握していない
- ・結果:使われない、費用だけかかる

OK 正しい進め方

- ・まず自社のIT環境を第三者に調査してもらう
- ・何を・どの順で・いくらで進めるかを明確にする
- ・リスクの高い箇所を優先的に対処
- ・社員の困りごとと同時にヒアリング
- ・結果:無駄な投資を防ぎ、最短で成果が出る

調査でお出しするもの

現状調査レポート

PC・メール・ファイル・セキュリティの現状を10ページ程度にまとめます

おすすめプラン

御社の規模・業務内容に合った最適なプランと理由をご説明

お見積もり

初期費用・月額費用の内訳を明示。
「思ったより高かった」をなくします

スケジュール案

何を・いつまでに・どの順番で進めるかを具体的にご提示

05

STEP 2

メール・ファイル・ セキュリティの土台整備

Cloud Foundation — ここが一番大事な工程です

Foundation

STEP 2で何が変わるのか

設定・移行・マニュアル・説明会まで全部こちらでやります。



項目	Before(今)	After(導入後)
ファイル管理	人によって保存場所がバラバラ。誰かの PCにしかないファイルがある。	どのPCからでも同じフォルダが開ける。自動バックアップで PC故障時もデータは無事。
セキュリティ	怪しいメールが来ても、開いていいか各自で判断するしかない。	危険なメールは届く前に自動ブロック。PC紛失時は遠隔でデータ消去。
アカウント管理	誰がどのサービスを使っているか把握できていない。	管理画面ひとつで全員分を一覧管理。退職者のアカウント停止もすぐ。
トラブル対応	壊れてから慌てて業者を探す。復旧まで数日。	チャットですぐ相談。リモートで即座に対応。

ライセンス費用の目安(5名の会社の場合)

項目	月額目安
Microsoft 365 Business Premium × 5名	約16,490円
Claude Team Standard × 5名	約16,700円
合計	約33,000円／月

ひとり月 6,600円

IT専任スタッフを雇えば月給25万～40万円。その1/10以下で、セキュリティ対策からAIまで揃います。この土台が整っていれば、STEP 3のAIが安全に、しっかり効きます。

06

STEP 3

AIで単純作業を 効率化し、利益を生む

AI Utilization — 空いた時間を、より利益になる取り組みに

Utilization

AIで何ができるのか — 具体的な活用例

パターンA: 今のソフト × AI(追加費用なし)

活用例 1 メールの要約

「今日のメール、要点だけ教えて」— AIがメールを3行にまとめます。

活用例 2 データ分析の自動化

「先月の数字、気になるところある？」— 前月比で大きく動いた項目を検出。

活用例 3 社内ナレッジの検索

新人の質問にAIが回答。マニュアルを読み込ませ済みで大体のことは答えます。

パターンB: 自社専用のしくみをつくる(開発費 5~30万円+月額 2千~2.5万円)

活用例 4 24時間自動応答チャットボット

お客様がLINEやWebで質問 → AIが24時間自動回答。対応時間ゼロで顧客満足度アップ。

活用例 5 日次チェック作業の自動化

毎朝、前日のデータチェック結果がメールで届く。手作業で丸日→半日に。

実際にご相談が多いテーマ

テーマ	Before	After
月次チェック	Excelとシステムを交互に見ながら丸2日	AIで確認作業が半日に。浮いた時間で顧客への提案準備
新人教育	ベテランが手を止めて1日何回も同じ説明	まずAIに聞いてもらう。社内マニュアルを読み込ませ済み
情報収集	セミナーや業界紙で追いかけるのが大変	「今年の法改正、うちに関係あるのどれ？」とAIに聞ける
顧客への提案	データを説明するだけで精一杯	データから提案レポートを自動作成

「この作業を減らして、こっちに注力したい」— そんな相談から始められます。企画から開発・運用まで全部こちらでやります。

07

導入効果と活用事例

AI活用で、何がどう変わるのか

Results

期待できる効果

業務時間の削減

メール確認、データチェック、資料作成などの単純作業を効率化。社員ひとりあたり週3～5時間の削減が期待できます。

セキュリティの強化

フィッシングメールの自動ブロック、端末紛失時の遠隔消去で、情報漏洩リスクを大幅に低減。

属人化の解消

ファイルの一元管理、マニュアルの整備、AIによるナレッジ共有で「あの人が知らない」をなくします。

提案力の向上

データ分析やレポート作成をAIに任せることで、社員が「考える仕事」に集中できるようになります。

「仕組み化」による継続的な効果 業務の仕組みとして AIを組み込むことで、同じ失敗を繰り返さない組織が作れます。人が辞めても、ノウハウはAIとマニュアルに蓄積されます。

コスト比較: IT専任スタッフ vs 社外AI支援サービス

項目	IT専任スタッフ採用	社外AI支援サービス
月額コスト	25万～40万円	7万円～
専門性	採用した人材に依存	AI・クラウド・セキュリティの専門チーム
属人化リスク	高い(退職時に知識が失われる)	低い(ナレッジは組織に蓄積)
対応範囲	1名分のスキルに限定	IT全般+経営視点での助言



08

費用の目安と スケジュール

必要な分だけ。合わなければいつでもやめられます。

Investment

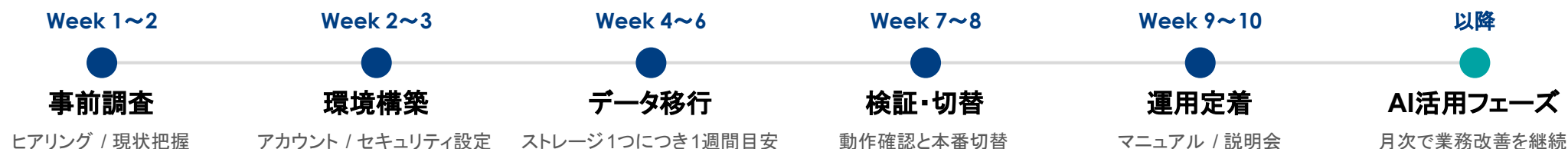
費用の目安とスケジュール

サービス費用

ステップ	内容	費用
STEP 1	事前調査(ヒアリング・レポート・お見積もり)	30,000円 ※ご契約時は本体から差引
STEP 2	クラウド導入・初期設定・データ移行・マニュアル・説明会	300,000円 (150,000円×2ヶ月)
STEP 3	AI活用支援・開発代行(月次伴走)	月額70,000円～ 最低契約期間なし

【補助金について】国の補助金が使える場合があります。中小企業診断士が在籍しているため、申請手続きのサポートも得意としています。

スケジュール(目安)



工程の管理も作業も、全部こちらでやります。みなさんをお願いするのは、途中で 2～3回「これで大丈夫ですか？」にお返事いただくことくらいです。

09

よくあるご質問

FAQ

よくあるご質問

Q うちの社員はITが苦手ですが大丈夫ですか？

大丈夫です。設定から移行、マニュアル、説明会まで全部こちらでやります。操作もこれまでとほぼ変わりません。

Q 今使っている業務ソフトはそのまま使えますか？

そのまま使えます。メール・ファイル管理・セキュリティの「土台」を整える作業です。既存の業務フローは壊しません。

Q データが消えたり漏れたりしませんか？

移行前に必ずバックアップを取り、旧データも一定期間残します。移行後はファイルが自動バックアップされます。

Q AIに顧客の機密情報を入れても問題ないですか？

法人プランでは入力内容がAIの学習に使われることはありません。どこまでAIに任せるかの線引きも一緒に整理します。

Q 助成金・補助金は使えますか？

使える可能性があります。中小企業診断士が在籍しているため、対象になりそうな制度のお調べから申請手続きまでご案内します。

Q 途中でやめることはできますか？

はい、最低契約期間の縛りはありません。STEP 1の調査だけ試して、STEP 2に進むかどうかを判断していただけます。

Q 他のITコンサルとの違いは何ですか？

中小企業診断士のグループ会社として、IT+経営の両面で支援。「提案して終わり」ではなく、運用まで一貫してお引き受けします。

Q リモートでの対応は可能ですか？

はい。東京・名古屋・大阪に拠点があり対面も可能。日常はチャットとオンライン会議で全国対応しています。

まずは30分、 お話しませんか？

「うちの会社でも使えるの？」「まず何をすればいい？」そんな疑問に、無料でお答えします。
まずはSTEP 1の事前調査(30,000円)だけでも構いません。

無料相談を申し込む

STEP 1 だけでも OK
調査だけ試して、その後の
判断はお任せします

押し売りしません
御社に合わないと判断した場合は
正直にお伝えします

契約縛りなし
合わなければ、いつでも
やめられます

株式会社アクセルパートナーズ

【本社】東京都品川区東五反田4丁目9-2 東五反田KBビル12F

【名古屋支社】愛知県名古屋市中村区椿町12番8号 椿町ビル4B

【大阪支社】大阪府大阪市北区野崎町6番8号 トレックノース 梅田ビル1205号室